

施策 27 水と緑による快適空間づくり

目的	対象	自然，市民
	意図	自然が保全・創出される 自然との共生が図られる

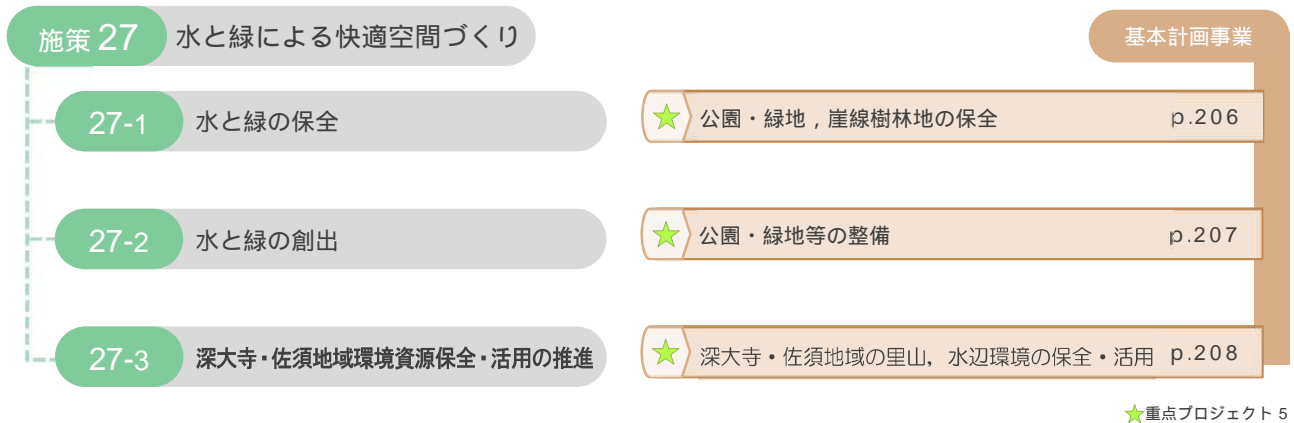
施策の方向

人と自然との共生を目指すために，湧水，公園，崖線，里山などの水辺や緑地を保全し，連続性のある自然動植物の生息空間と緑豊かな美しい街並み・景観を形成する快適な空間づくりに取り組みます。

施策のポイント

自然豊かな都市環境の保全（地域制緑地制度等を活用した取組の推進，生物の生育・生育環境の確保や希少種の保全に配慮した保全管理計画の策定など）
 新たに緑に位置付けられた農地を含む緑の保全に関する取組の検討
 老朽化した公園の施設・設備の計画的な更新
 公園・公衆トイレの改修に向けた検討
 地域ニーズに即した公園・緑地の整備の推進
 市民や団体等との協働による花いっぱい運動の実施

基本的取組の体系



現状と課題

都市緑地法等の一部改正（平成29（2017）年6月）により，農地が緑地として位置付けられたことを踏まえ，緑の基本計画の改定を見据えた緑の保全に関する取組を検討する必要があります。

東京都は，平成28（2016）年3月に市区町村と合同で緑確保の総合的な方針を改定し，都市の中に残された樹林地や農地などの既存の緑が減少している状況を自治体共通の重要な課題と捉え，減少傾向にある民有地の既存の緑を計画的に確保することとしています。

調布市には，屋敷林や平地林などの立体的みどり，田畑や草地などの平面的みどり，さらに多摩川をはじめとする水面などがあり，豊かな自然環境が形成されています。



多摩川

老朽化した公園の施設・設備について、平成31(2019)年3月に改定した公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に更新していく必要があります。

公園・緑地機能再編指針に基づき、多様化する地域ニーズに対応した公園・緑地整備に取り組むとともに、健康増進法や東京都受動喫煙防止条例の実効性を高めるため、市が管理する公園での喫煙を禁止するなど、市民の健康を守るための環境を整える必要があります。

東京2020大会に向け、市民に対して緑豊かな調布の魅力を発信するとともに、花いっぱい運動の担い手となるボランティアの確保・育成に努め、市民や団体等との協働による花いっぱい運動の実施に取り組む必要があります。



野川

深大寺・佐須地域は、国分寺崖線の緑や湧水、さらに比較的まとまった都市農地や用水路などがあり、都心に近い地域ながらも里山風景を残した地域となっていることから、これらの環境資源を保全するとともに、多面的に活用できる仕組みづくりを検討していく必要があります。

緑被率及びみどり率の推移

区分	平成16(2004)年		平成22(2010)年		平成27(2015)年	
	面積 (ha)	対市域 面積比 (%)	面積 (ha)	対市域 面積比 (%)	面積 (ha)	対市域 面積比 (%)
屋敷林	24.27	1.1	19.68	0.9	18.50	0.9
住宅・事務所等の植栽	96.32	4.5	113.46	5.3	116.20	5.4
山林・平地林	39.19	1.8	31.37	1.5	29.07	1.3
公園の緑	73.65	3.4	69.58	3.2	72.55	3.4
公共施設の緑	64.98	3.0	73.14	3.4	66.14	3.0
(うち道路の緑)	(16.85)	(0.8)	(16.31)	(0.8)	(16.06)	(0.7)
民間施設の緑	32.59	1.5	33.19	1.5	35.62	1.7
社寺林	7.73	0.4	8.00	0.4	8.09	0.4
果樹園・苗圃等	62.16	2.9	50.67	2.4	51.66	2.4
田畑	106.30	4.9	95.93	4.5	88.56	4.1
草地	208.39	9.7	193.96	9.0	183.59	8.5
緑被地面積/緑被率	715.58	33.2	688.96	32.0	669.98	31.0
水面等	98.77	4.6	86.15	4.0	95.45	4.5
みどり率対象面積/みどり率	814.35	37.8	775.11	36.0	765.43	35.5

端数四捨五入により合計が合わない場合があります。

出典：「調布市緑の基本計画 改訂版」(平成23(2011)年3月)及び「平成27年度調布市緑化基本調査報告書」(平成28(2016)年4月)

基本的取組の内容

27-1 水と緑の保全

身近な水辺と崖線樹林地・里山の一体的な保全・活用

湧水・河川・田んぼなどの身近な水辺について、雨水浸透ますの設置や崖線樹林地などの管理により、地下水をかん養し湧水を復活するなど、崖線樹林地や里山の一体的な保全に努めます。また、武蔵野の貴重な自然資源を市民の憩いの場やふれあいの場として活用しながら、次代に継承するため、生物多様性にも配慮した水辺や崖線樹林地の維持保全を推進します。

緑の保全に向けた制度の活用

緑地の連続性や地域の特性を踏まえ、地域制緑地制度を活用し、民有地等における緑の保全に努めます。

地域制緑地制度...都市緑地法に基づく「緑地保全地域制度」や「特別緑地保全地区制度」、生産緑地法に基づく「生産緑地制度」など、法令に基づく緑の保全・創出に関する制度の総称

公園・緑地等の公有化への対応

市内の公園のうち借地公園については、市民一人当たりの公園面積の目標値や都市計画法などによる位置付け、公園面積、地域的な配置状況等を踏まえ、公園不足地域が生じないように対応していきます。また、市民の環境行動を緑の保全確保につなげる新たな基金の活用により、崖線樹林地や公園の公有化に向けて取り組んでいきます。

市民による緑の保全の促進

環境学習や市民参加型環境事業を通じて、調布の自然を次代につなぐ人材を育成するとともに、協働による崖線樹林地等の維持保全を促進します。

緑化活動へつなげる支援・制度の充実

ラグビーワールドカップ2019™日本大会及び東京2020大会を迎えるに当たり、会場周辺やアクセス経路などを花で彩る花いっぱい運動を推進し、これを契機に花いっぱい運動が緑のレガシーとして、市民主体の活動として継続されるよう支援します。その他に都市計画道路などにおける緑化の促進、新設した生垣に対する補助など、緑化につながる活動を支援します。

公園施設長寿命化計画の推進

公園の安全で快適な利用環境の維持・向上を図るため、調布市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進む遊具の適切な補修や更新など、予防保全的管理に係る取組を計画的に推進します。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
公共が保全する緑の面積	149.07ha (平成29(2017)年度)	149.70ha (令和4(2022)年度)

指標の対象は、市や都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地で市が補助対象としている保全地区



実篤公園

基本計画事業

重点5

88	公園・緑地，崖線樹林地の保全				区分	拡充	担当課	緑と公園課
事業名	公園・緑地，崖線樹林地の保全				区分	拡充	担当課	緑と公園課
事業の概要	市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより協働による公園・緑地，崖線樹林地の維持保全を進めるとともに、緑地の連続性や地域の特性を踏まえ、地域制緑地制度の活用や公有化による緑の保全に取り組みます。							
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度				
	市民との協働による保全 崖線樹林地等の保全管理計画策定 (深大寺自然広場)	継続 崖線樹林地等の保全に関する調査検討 (深大寺元町特別緑地保全地区，国分寺 崖線，みんなの森)	継続 崖線樹林地等の保全管理計画策定 (深大寺元町特別緑地保全地区，国分寺 崖線，みんなの森)	継続 崖線樹林地の保全管理計画の見直し検討 (若葉町・人間町)				
	花いっぱい運動の推進	継続	継続	継続				
	公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事	継続	継続	継続				
	緑地の公有化 ・深大寺元町特別緑地保全地区	緑地の公有化 ・深大寺南町(深大寺・佐須計画区域)						
	緑の基本計画改定のための調査検討	緑の基本計画改定						
	公園・公衆トイレ整備・改修計画策定	公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組	継続	継続				
	地域制緑地制度活用検討(深大寺・佐須地域)	継続 実篤公園の保全管理に関する調査検討	実篤公園の保全管理に関する調査検討 (計画策定)	実篤公園の保全管理に関する調査検討 (実施設計)				
事業費 (百万円)	742	829	81	88				

27-2

水と緑の創出

公園・緑地機能再編整備プランによる公園・緑地の整備

調布市公園・緑地機能再編指針に基づき、公園・緑地が有する機能を踏まえ、地域のニーズに合わせた整備を計画的に実施するとともに、地区計画などのまちづくりと一体となった公園の整備を推進します。また、公園・公衆トイレ整備・改修計画の策定に取り組んでいきます。

布田崖線に位置する若宮自然広場及び凸凹山児童公園については、隣接地を含め一体的な整備の検討を進めます。

水辺環境の整備促進

多摩川、野川、仙川、入間川について、生物生息環境に配慮した安全で快適な河川・川岸の整備及び管理を、管理者である国及び東京都に要望し、水辺環境の整備促進を図ります。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
市民一人当たりの公園面積	5.54m ² (平成29(2017)年度)	5.50m ² 以上 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

重点5

89					
事業名	公園・緑地等の整備	区分	継続	担当課	緑と公園課
事業の概要	調布市公園・緑地機能再編指針に基づき、公園の配置状況や地域ニーズに合わせた、公園・緑地の適切な整備を実施するとともに、既存の公園機能の再編を推進します。				
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	
	調布基地跡地留保地スポーツ・防災公園(協議・調整) 鉄道敷地公園(西側端部・相模原線)整備 多摩川市民広場整備工事(～令和3年度)	継続 鉄道敷地公園(相模原線)の運用 継続 凸凹山児童公園及び若宮自然広場等基本構想 五本松公園実施設計	継続 継続 多摩川市民広場周辺区域実施設計 凸凹山児童公園及び若宮自然広場等基本設計(機能再編整備プラン策定を含む) 五本松公園整備工事	継続 多摩川市民広場周辺区域整備工事 凸凹山児童公園及び若宮自然広場等実施設計	
事業費(百万円)	154	135	149	50	

基本目標8



市内の公園

 施策27
水と緑による快適空間づくり

27-3 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

調布市の貴重な地域環境資源である深大寺・佐須地域の里山・水辺環境については、市民との協働の下、雑木林の保全や田園風景の保全などを推進するとともに、都市農地の維持・保全に向け、地権者との合意形成を図りながら、良好な地域環境の維持・保全・活用に向けた取組を進めます。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
区域での環境学習等の延べ参加人数	6,023人 (平成29(2017)年度)	6,300人 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

重点5

90					
事業名	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用	区分	拡充	担当課	環境政策課
事業の概要	深大寺・佐須地域の豊かな環境を調布の貴重な財産として、次世代に引き継いでいくために深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に基づき、事業の検討・推進を図ります。				
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	
	深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有地化後の維持保全、暫定利用 ・農地周辺の環境整備等に係る協働事業の試行と確立後の事業実施 ・地域での環境事業の試行と確立後の事業実施 ・水路周辺の生物・水質調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営 ・農業用井戸の維持管理	深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有化した土地の活用に係る施設整備 ・農地周辺の環境整備等に係る協働事業及び地域での環境学習事業の確立 ・継続 ・継続	深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有化した土地の活用の事業実施 ・継続 ・継続 ・継続	深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・継続 ・継続 ・継続	
事業費(百万円)	3	59	18	18	

基本目標8

施策27 水と緑による快適空間づくり



深大寺南町の里山風景

参加と協働の視点

～市民等に期待される役割～

市民・事業者は、住宅や事業所など身近な場所の緑化に努めるとともに、水と緑の保全・創出に向けた地域活動に積極的に参加・協力します。

多様な主体との連携事例

花いっぱい運動

花や緑に自らが関われる活動への補助を通じて、地域の花や緑への関心を高めるための取組の一つとして、花いっぱい運動を実施しています。

市内の歩道や公園などの空閑地に草花苗、種子等を植え、育成し、花を咲かせる地域のグループに対して、その活動経費の一部を助成しています。

また、ラグビーワールドカップ2019™日本大会、東京2020大会のおもてなしの一環として、市民や団体等との協働の下、競技会場周辺の駅前広場等を花で彩る取組を実施しています。

併せて、花いっぱいサポーター（市民ボランティア）講座（座学と戸外での実習）を実施し、公共空間における花づくりの継続的なボランティア活動につなげていきます。

【所管課】緑と公園課

【協働のパートナー】花いっぱいサポーター



<花いっぱいサポーターの活動>
(飛田給駅南口)

緑と花の祭典

市内の緑化推進の一環として、市民が緑に親しみ、緑化への意識を啓発することを目的として、花、樹木等の展示即売や講習会等を市内植木組合や花卉組合などで構成される実行委員会を組織し、市との共催行事として「緑と花の祭典」を開催しています。(春・秋開催)

【所管課】緑と公園課

【協働のパートナー】緑と花の祭典実行委員会



<緑と花の祭典の様子>